

極端気象災害研究領域

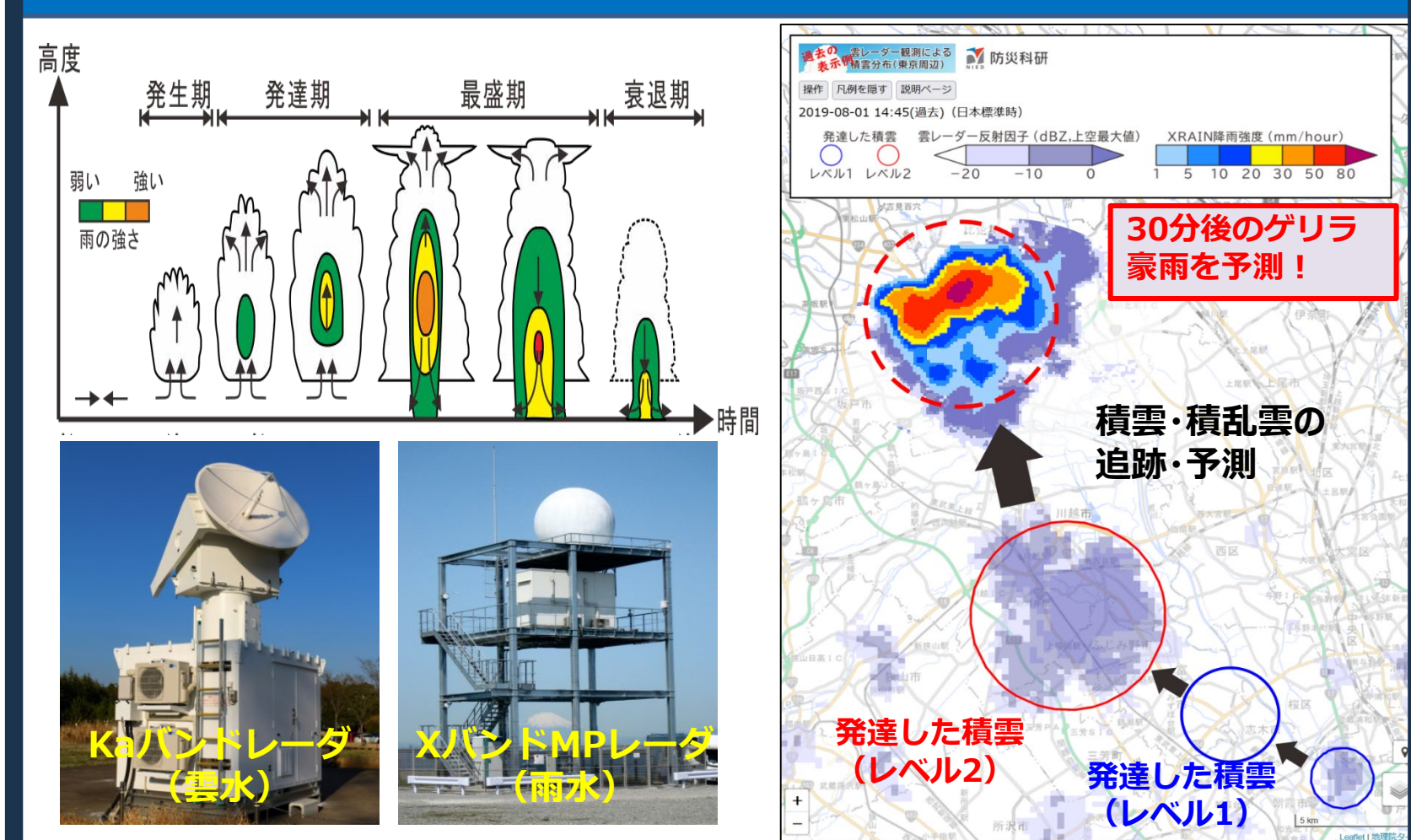
Department of Extreme Weather Disaster Research



地球規模での温暖化により頻発する極端な豪雨・洪水・土砂災害、暴風、熱波、大雪、寒波などの毎年のように発生しつつ被害と頻度を拡大させている災害を効果的に防止・軽減するための方策を研究します。

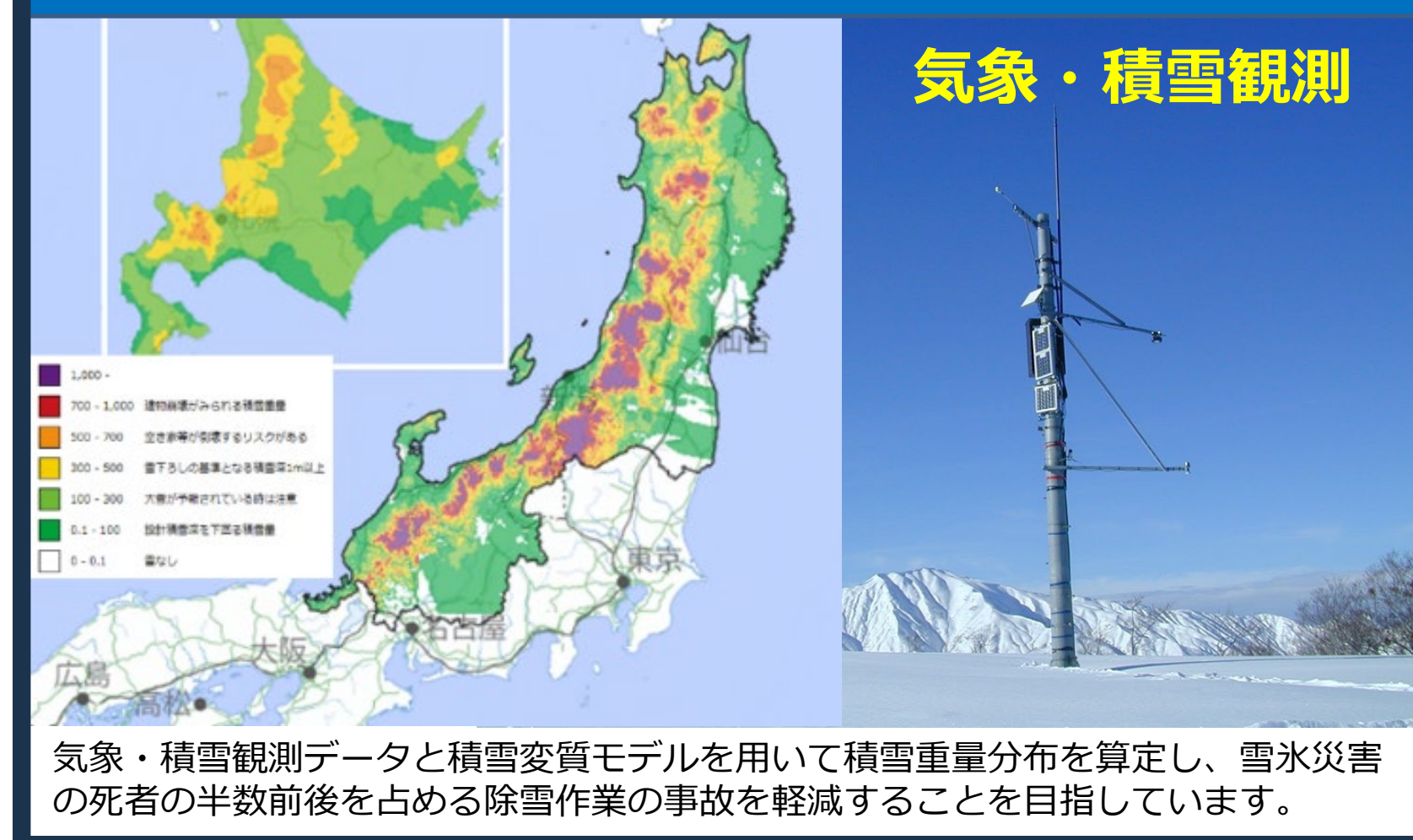
水・土砂防災研究部門

気象レーダを利用した積乱雲の早期検知

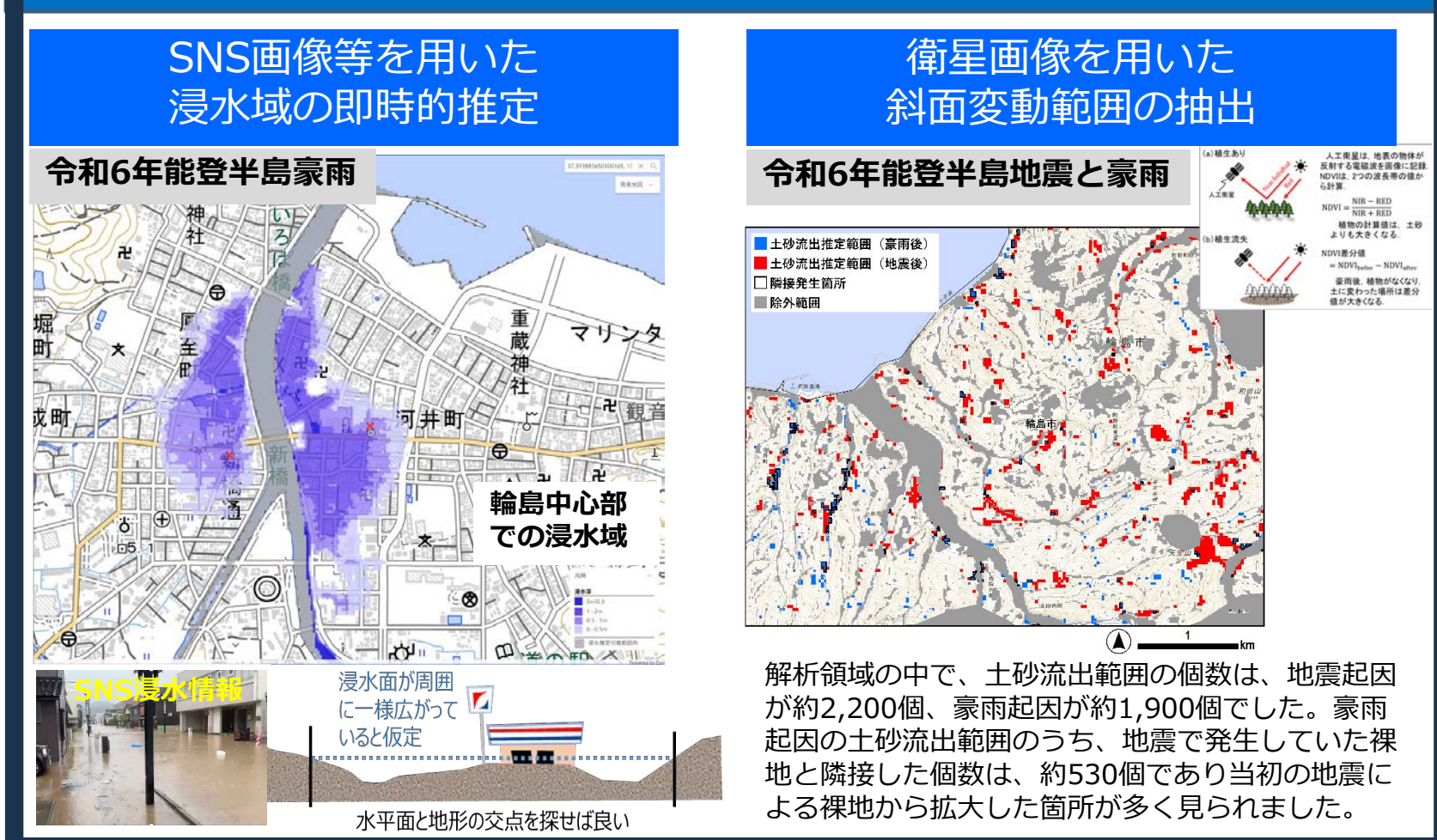


雪氷防災研究センター

雪おろシグナル (積雪重量分布情報)



浸水・斜面崩壊範囲の即時的抽出



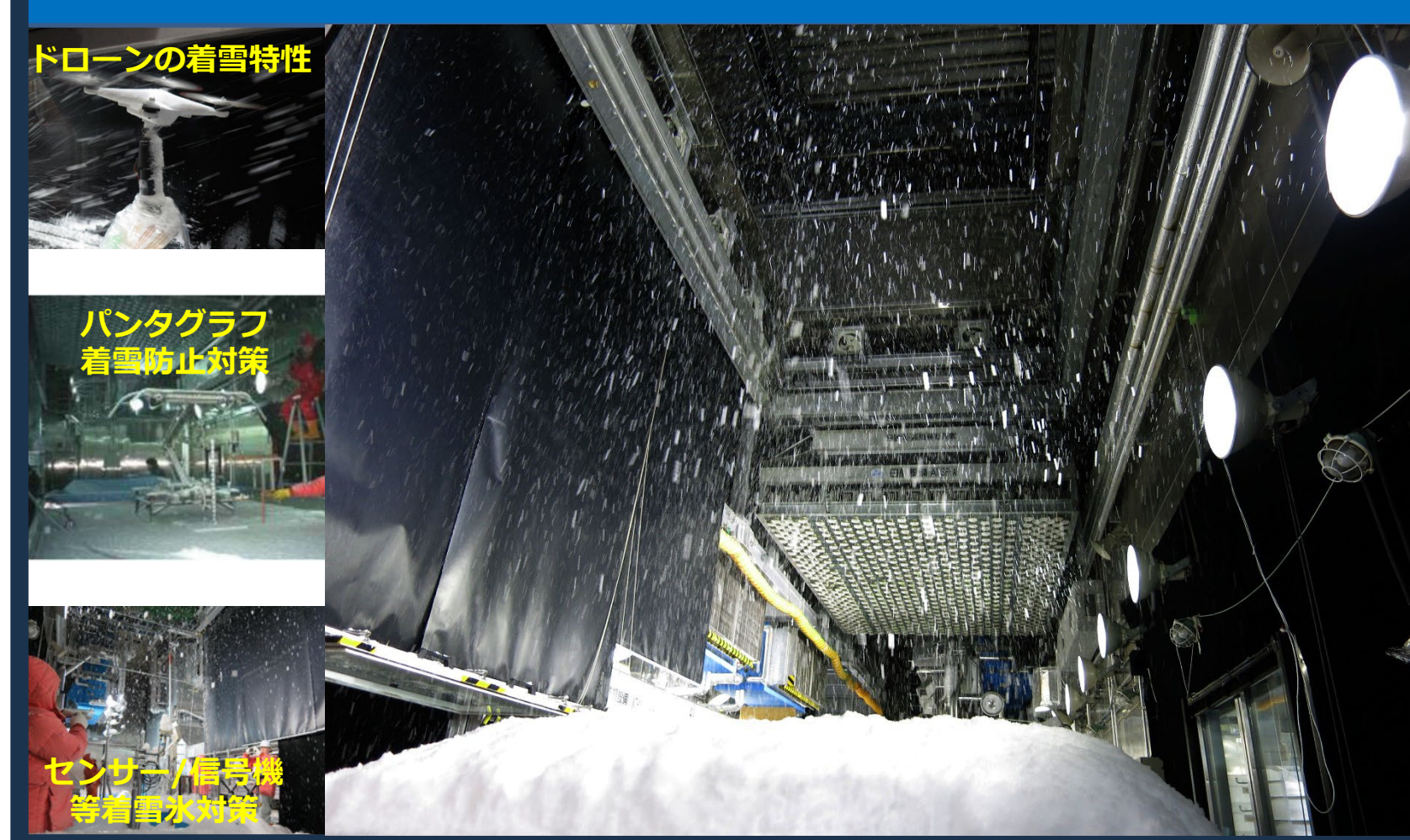
リアルタイムAI路面判定技術



大型降雨実験施設を利用した研究開発



雪氷防災実験棟を利用した研究開発



観測
予測

状況
把握

対策
技術

今後の展望・方向性

近年頻発化する極端な集中豪雨や集中豪雪は、社会活動に大きな影響を及ぼしています。一方で、人口減少、高齢化など我が国の社会環境は急速に変化してきています。変わりゆく気候と社会環境の下では、最先端の科学技術を活用した効果的且つ効率的な気象災害への対応が社会的にますます求められています。我が国全体の持続可能な安心・安全な社会の実現を目指し、極端気象災害研究領域の水・土砂防災研究部門と雪氷防災研究センターは、極端気象の理解とそれに基づく観測・予測技術開発、気象災害の把握、さらに国内唯一の悪天候環境を再現できる実験施設を活用した対策技術のための研究開発を協働で進めていきます。

